



マンスリーしろやま1月号

橋本市立城山小学校 令和7年1月21日発行 校長室から

HPからもご覧いただけます



2学期後半が始まり、学年のまとめに向けてまっしぐら！

令和7年1月8日(水)2学期後半が始まりました。冬休み中、しっかり充電できたようで、みんなやる気いっぱいです。子ども達の笑顔を見ると、私たちも元気になります。さあ、頑張るぞという気持ちで始まりました。

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われ、冬休みが明けると、学年末まであつと言う間に過ぎてしまいます。縄跳び大会や新入生の体験・感謝のつどい等、行事も目白押しです。1日1日を大切に、全ての行事に全力で取り組み、大きな力を身につけてほしいと思います。そして、自信をもって卒業式・修了式を迎えてほしいと思っています。教職員一同、子ども達の成長のため尽力いたします。保護者の皆様・地域の方々、子ども達の頑張りに、どうか応援をよろしく願いいたします。



自分の命はもちろん、すべての人々の命も大切に！

阪神淡路大震災から30年が過ぎた、令和7年1月17日(金)に給食の放送の時間を使って、命を守るということについて話をしました。30年も前の悲惨な被害があった震災のことをどうして報道するのか、子ども達に教えてもらいました。他にも、日本には忘れてはならない日があります。9月1日・8月6日9日15日・3月11日そして、昨年の能登で震災があった1月1日。全て自然災害や戦争で多くの人々の命が奪われた日です。これらの日を忘れてはならないのは、この時亡くなった人たちの分まで精一杯生きていかなければならないことと二度と同じ過ちを犯さないためです。戦争は人間が起こすことなので、防ぐ方法があります。しかし、自然災害はいつ起こるか分からないからこそ、普段からの備えが大切であることを学んだからです。

もう一つ、自分の命だけでなく、家族や友達・地域の方々など、すべての人たちの命も大切にしなければならないことを教えてくれたからです。一緒に避難することで多くの命を救うことができます。また、阪神淡路大震災はボランティア元年とも言われています。多くの方が、被災地へ行って、被害に遭われた方への支援を行って来ていました。そして、絆という言葉もたくさん聞かれました。人と人とのつながりを強めることが、命を守ることなのです。



こうやって学んだことを基に、これから城山小学校では、自分の命はもちろん家族や友達・地域の方々の命を大切にしていけることを誓います。



委員会活動で

本校では、4年生以上の子ども達が、7つの委員会に分かれて、学校やみんなのために当番や仕事をして来ています。毎日の当番活動を頑張ってくれている委員会とみんなが楽しめるめよう工夫してくれている委員会があります。今回は、給食・体育・保健の3つの委員会の活動を紹介します。

体育委員会

1月22日(水)の校内縄跳び大会に向けて、みんなが少しでも記録を伸ばすことができないようにと、個人種目のコツを書িয়েくれました。わかりやすい文章なので、低学年もしっかり読んで、その通りに練習していました。本番、記録更新できるといいですね。



給食委員会

食器などの片付けがなかなかきちんとできない時期があって、委員会ですればよいか考え、できた学級にシールを貼り、たくさん集めた学級に賞状を渡すようにしてくれました。おかげできちんと片付けができるようになりました。



保健委員会

インフルエンザが猛威を振るっています。そこで、保健委員会では、手洗いうがいの励行や換気呼びかけられました。残り少ない日々、病気で休まなくていいよう、健康管理をしっかりとしてください。栄養と休息も大事です。

